



だ い し っ 子

～青少年対策西新井地区委員会だより～

青少年対策西新井地区委員会は、地域の町会・自治会・学校関係者等で構成された青少年の健全育成を目的に活動している団体です。

編集・発行

足立区西新井1-4-17

電話03-3890-4331

発行責任者 栗田泰夫

平成30年9月15日

第58号



青少年対策
西新井地区委員会
会長
栗田 泰夫

日頃より青少年対策西新井地区委員会（以下西新井地区対）に對しまして、ご支援ご協力ご鞭撻を頂き誠にありがとうございます。

平成三十年度、西新井地区対の会長を仰せつかり、二期目を迎えることになりました。

私は、西新井地区の子ども達にとつて、よりよい環境すなわち『ここで育ち、住んで良かった』と、思われる街になるよう大人として少しでも寄与できるよう、邁進して



西新井地区
町会自治会協議会
会長
白石 正輝

青少年対策西新井地区委員会の「だ い し っ 子 第五十八号」の発行にあたり一言ご挨拶申し上げます。

私は平成三十年度・三十一年度の西新井地区町会・自治会協議会の会長を引き続き努めることになりました。

近年、「少子高齢化」が叫ばれています。高齢者が元気で長生きできる社会は、人類の長年求めてきた大きな希望でしたが、問題は高齢化した社会を支えていく生産人口

いく所存でございます。

西新井地区対は、相談役として三十名の町会・自治会長、並びに十一名の学校長、そして六十六名の委員、総勢百十一名で組織されており、組織力として地域最強の皆様の集まりと考えております。

この素晴らしい人たちの出会いの中で、西新井地区を愛する私たち委員が、子ども達と共にコミュニケーションを図り、地域の和と輪を醸し出し絆づくりができることを望んでおります。

幸いにして、西新井地区対の事業は一つの運営委員会と四つの実行委員会に分かれて活動をしており、それぞれの

（働き・納税する人口）が大幅に減少する、少子化社会の急速な進捗です。

子どもたちが町にあふれ、元氣一杯に活動する事は、日本の未来にとって素晴らしい宝物です。

こうした社会を実現していくには、私たち大人が子どもたちの成長を暖かく見つめ、子どもたちをしつかりと守っていかねばなりません。

青少年対策西新井地区委員会の皆様がこうした理念に基づき、日々活動が続けている事に、地域を代表し心から感謝を申し上げます。

私たちの町も、かつては多くの子どもたちの明るい声に

委員会とは独自に企画立案し特色のある事業形態を構築しております。その中から私たちの理想とする地域像が生まれることを期待しております。

今おかれている社会では、地域社会を理解している人々がなかなか多くありません

同じ屋根の下の『家族』、西新井地区の空の下『地域』と考えて頂ければ、地域は家族だとも考えられると思います。西新井地区がより良い地域となることに、西新井地区対も一丸となって努力して参る所存ですので、皆様方からの更なるご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

（働き・納税する人口）が大幅にあふれていましたが、今はその活気がほとんど感じられません。

そんな中、西新井地区委員会では年間を通して「親子のふれあい音楽祭・日帰り研修会・ビーチボール大会・だ い し っ 子 の 発行・善行青少年顕彰式」等、多くの事業を展開し、青少年の健全育成に多大な貢献をしています。

地区対をこれからも支えていきますので、よろしくお願い致します。

親と子のふれあい音楽祭運営委員会

音楽祭運営委員会

運営委員長 中村隆文

子どもたちが健やかに育つて欲しいという思いは、保護者の方々をはじめ、学校・地域の方々の切なる願いだと思えます。

音楽は心を豊にし、子どもたちの成長に多大な影響をもたらします。西新井地区対では、十二年前に地域の学校担当青少年委員会を中心にこの音楽祭を立ち上げ、今に続いています。

音楽祭運営委員会には地区対の委員全員が参加しており、それぞれの役割を決め活動しています。

西新井地区には、小学校・中学校そして高校があります。幸いなことに、それらの学校が一堂に会することが出来るホールがこの地区にはあります。ギャラクシיתי（西新井文化ホール）です。

初回から今日まで主にこのホールで音楽祭を催していますが、七年前は音楽祭の前々日に東日本大震災が起きました。その後二年間はこのホールが使用できなくなり、都立足立工業高校のご厚意で体育館をお借りして開催しました。

例年、年度末の三月に音楽祭を開催していますが、各学校の先生方には大変なご協力をして頂いております。また、音楽祭当日には、

多数の生徒の皆さんが手伝ってくれます。

毎年、ご来賓の皆様をはじめ、多くの保護者・地域の皆様に子どもたちの音楽を楽しむにきていただいております。今年の三月十日に開催された「第十回親と子のふれあい音楽祭」も会場が満員となりました。そしてステージの最後に、参加した子どもたちと会場の皆さん全員で合唱したことが忘れられません。

「第十一回親と子のふれあい音楽祭」は来年の三月十日(日)に開催予定です。多数の方々のご来場をお待ちしております。

《音楽祭運営委員会》

運営委員長 中村隆之

委員
中田康博 森岡裕子
中込光枝 森美枝
土田恭宏 近藤真理子
高山正美 中田哲郎
西村秀彦



事業実行委員会

事業実行委員会

実行委員長 近藤真理子

事業実行委員会は、青少年対策西新井地区委員会が足立区教育委員会より事業委託を受けて「青少年のよい行いをほめたたえる活動」を実施する委員会です。

事業の内容としては、善行青少年顕彰の基準及び募集要項の作成を行い理事会に諮問、理事会決定後は、推薦、募集活動の企画運営を行います。

推薦は、西新井区民事務所管内の町会長、自治会長、学校長、青少年育成団体代表者、スポーツ推進委員、青少年委員にお願いしております。

平成三十年度分の顕彰対象者については、十月になりましたら前記の方々に推薦依頼を送付する予定です。

推薦いただきますと審査により受賞者を決定し、西新井区民事務所において、平成三十一年二月十七日に顕彰式を行います。

顕彰によって西新井地区の地域活動にボランティアとして参加活動した青少年をほめたたえて、その力を伸ばしていただくものです。

七月の西日本豪雨の際、小学生、中学生、高校生のボランティアとしての活躍が報道されていました。まだ記憶に新しいことです。

地域の皆様には、善行顕彰に該当すると思われる児童、生徒さんをご存知でしたら、推薦者の方々にお知らせくださいますようお願い致します。



《事業実行委員会》

実行委員長 近藤真理子

委員

塚本孝子 浅野成美 石鍋 浩
丸山昌子 後藤昭仁 滝口悦子
郭邦植 土方紀昌 春日井太郎
内山勉 竹橋 司 遠藤邦昭



広報実行委員会

広報実行委員会

実行委員長 西村秀彦

本年度より、広報実行委員長を拝命致しました西村です。

広報実行委員会は、その名前のとおり青少年対策西新井地区委員会（以下、西新井地区対）に係わる地区青少年への啓発活動・委員会事業に関する広報活動を行う実行委員会です。定期的に行っているのが、夏休み冬休みに町会・自治会の掲示板に掲出をお願いしている非行化防止ポスターの製作、年二回配布している「だいしっ子」の取材・編集・発行業務です。

「だいしっ子」は西新井地区対の事業の紹介や事業の結果の報告、西新井地区町会・自治会協議会関係の記事、地区内で取材活動を行い紹介する記事などで構成しています。紙面については、皆様に読みやすいように・事業の様子等が判りやすいように写真や図を適宜配置しています。また、写真等を見やすく・情報を判りやすくするため全面カラー印刷を導入しています。発行については現在、区域内の町会・自治会の回覧への添付、区域内小中学校児童生徒への配布を行っています。



今後も区域内町会・自治会・小中学校関係者の皆様には、配布への御協力をお願いすると共に、地区内にて広く記事の収集を行ってまいりますので、実行委員会の委員から取材依頼があったときは、ご対応頂けるようお願い致します。

《広報実行委員会》

実行委員長 西村秀彦

委員

吉岡成子 中田 実 大和田信一
柴田美奈子 岩片善男 森岡裕子
小林松美 安藤由起子 宮本 清
中田雅之 山下友美



親と子のふれあいビーチボールバレー大会 実行委員会

ビーチボールバレー大会実行委員会

実行委員長 中田康博

親と子のふれあいビーチボールバレー大会は、今年度で第二十三回目を迎える、西新井地区対の伝統的な事業です。

当地区対では、小学生子どもチーム、大人チーム、ファミリーチーム、二百二十歳以上チームにカテゴリーを分け、小学生からシニアまで幅広い年代の方々に参加いただいております。近年では、五十余チーム、二百五十人以上のエントリーをいただき、熱戦を繰り広げています。

実行委員会では、スムーズな大会運営のために、次のような活動をしています。

①実施要項・ポスターの作成
町会・自治会・学校・育成会等、関係者の皆様方に、ポスター掲出のご協力をいただいております。

②大会開催ご案内の発送
前記の団体の他に、前年度参加者の方々にも開催のご案内を送付いたします。また、西新井区民事務所でエントリーの受付を行っておりますので、初めてご参加される方も、気軽にお問合せください。

西新井区民事務所

☎二八九〇一四三三三

③代表者会議の実施

ルールの確認や対戦の抽選等を行います。

④事前準備

会場校との連絡調整や、審判員の依頼、使用物品の準備・確認等を行います。

⑤大会当日

会場の設営、大会の運営、また、終了後には次年度に向けて反省会

を実施しています。

主な活動をご紹介しましたが、ビーチボールバレー大会が地域コミュニティのふれあいの場となり、青少年健全育成の一助となりますよう、実行委員二十五名が一丸となって準備を行っています。今年度も、十一月十八日(日)に第二十三回大会を開催しますので、沢山の皆様のご参加をお待ちしております。

《ビーチボールバレー大会実行委員会》

実行委員長 中田康博

委員

桑原敏昭 中込光枝 森美枝
大内昭男 萩尾理華 鈴木美枝
飯塚桂子 渡邊春江 阿部綾子
中田忠夫 小松和代 鈴木純子
中田栄嗣 坪井和代 松田健司
高橋佑介 笹森幸子 有村由香子
久保利満



研修実行委員会

研修実行委員会

実行委員長 中田哲郎

本年度、地区対研修実行委員会委員長を拝命した中田です。

地区対の研修実行委員会は、地域の各町会・自治会・教育団体・青少年団体等から地区対委員として推薦された方々に対して研修を行うものです。

研修を通じて、各々の知識と意識を高め、各出身母体の団体での活動に生かしていただきたくないと存じます。

基本的に年二回の研修が予定されており、本年度は、七月時点で既に一回目の日帰り研修が実施されており、八月には第二回として教育長をお招きして、講演会を開催し、行政の期待する地区対の意義や、今後の活動の指針となるようなお話を語っていただきました。

これらは、前年度の実行委員会です
で予定された事業の執行なのですが、本年度は特に地区体各実行委員会のシャッフルを経た新体制であり、次年度以降に本領発揮すべく鋭意研鑽中というところです。

今後の方針としては、夏と秋の年二回を予定し、青少年問題における今日の諸問題について、我々が未知の領域の事を積極的に取り上げ、見識を深めていきたいと思っています。幸い当地区対には、青少年委員・主任児童委員・保護司といった方々も多くおられますので、そうしたコネクションから情報

収集して、テーマをもって研修内容設定を考えていき、我々自身を啓発して、少しでも社会のお役にたてるようにしたいと思います。

《研修実行委員会》

実行委員長 中田哲郎

委員

高山正美 土田恭宏 土岐理恵
田中加代 元木忠司 中澤けい子
根本 勲 森本恭裕 山中和枝
中橋奈保子 田中けい子 柴崎保子
白石千尋



あの町この町「西新井仲町会を歩いて」

梅雨まつただ中の午後、強い陽射しに負けずハンカチで汗を拭いながら、西新井仲町会を歩いてきました。区民事務所手配の地区対の腕章と首からネームカードをぶら下げ、いざ出陣。今回は、両手に花の計三名での町歩き。先ずは大橋会長宅に挨拶を兼ねて訪問。お話を伺ってきました。町会の運営状況、時の流れとともに、昔とは異なる人々の考え方の相違。必要以上に敏感な個人情報問題・町会加入に際してのメリットデメリットの対比を問う住民。昨今、この問題等は、一町会ではなく他の町会、区や国全体が取り組む難しい課題となっております。

お話を伺うこと小一時間。お礼を申し上げ三名は町の探訪を開始。

個々の住宅景観を眺め、庭に咲く花に見とれ会話が弾む。環七通りを脇にイチョウの大木が二本。近くの道はよく通るが、気にも留めずに通り過ぎてしまふこの場所。ここは浅間神社。日頃の無礼をお詫びしつつ、私欲が覗く願い事をひとつ。暑い、暑い、まだ陽は高く次へと足を進めると、右へ左へと家並みを抜けると、大きな西公園。遊具がある北側には、存在感があるモニュメント。下側には西公園と表記があるが、設置に際し云われが不明で少し残念。この公園は町会が管轄する公園としては区内唯一と聞いておりまして。いざ災害が発生した時に

は、避難場所となることは元より、普段でも近所の憩いの場であり、友達や家族で集い、大きな声で走り回る元気な子供たちの遊ぶ姿が目に見え、コースを変へ住宅街と足を進めると、細い路地の一角に、民家の玄関先でもあり、道路を遮るような古木の切り倒された大株がドーンと目に飛び込んできました。いにしえからの存在を今に伝えており、数百年の時を刻み、何故切り倒される様になったのか経緯も知りたかったので会長に尋ねると、昔は区の保存樹だったとの事。数十年前に大木のの上にカラスが巣を作り、何かの拍子に子ガラスが落下し、子を守ろうと親カラスが道行く人を攻撃し近隣の人から区に苦情があり、止む無く切り倒しの運命に、今に至る。「それにしても何故？根元を残したのか、まだまだ謎多き古木である」

広いとは言えない昔ながらの生活道路を歩いていると、八百屋さん、魚屋さん、お豆腐屋さんなどが点在し、御近所さんに愛されての商売が垣間見え、古き良き時代の息吹が感じられ、地元に根づく昭和の香りに、いつしか暑さも忘れてしまうような心安らぐ、西新井仲町会の散策でした。



平成三十年度
西新井地区対
事業計画

- ①総会 五月十八日(金)
- ②理事会
第一回 五月十日(木)
第二回 六月一日(金)
第三回 七月二十五日(水)
第四回 九月二十一日(金)
第五回 一月十八日(金)
第六回 三月二十日(水)
- ③委員会
第一回 六月八日(金)
第二回 十月五日(金)
第三回 二月八日(金)
- ④合同宿泊研修会
*町会・自治会協議会との共催
六月十七日(日)～十八日(月)
静岡県 堂ヶ島温泉方面
- ⑤委員日帰り研修会 七月一日(日)
東京都 府中市方面
- ⑥非行化防止ボスターの掲出年二回
(夏休みと冬休み前)
- ⑦機関紙「だいしつ子」
第五十八号 九月発行
第五十九号 三月発行
- ⑧委員研修会「教育長講演会」
八月十日(金)
- ⑨第二十三回ビーチボールバレー大会
十一月十八日(日)
都立足立工業高校体育館
- ⑩西新井地区新春区政懇親会
*町会・自治会協議会との共催
一月二十四日(木)
- ⑪善行青少年顕彰式
二月十七日(日)
西新井区民事務所
- ⑫第十回親と子のふれあい音楽祭
三月十日(日)
西新井文化ホール
(ギャラクシティ)

地区対活動予定

第二十三回親と子のふれあい
ビーチボールバレー大会

平成三十年十二月十八日(日)

昨年の二十二回大会は、五十
七チーム、総勢二百五十人以上

の方々にご参加頂き、熱い戦いが繰り広げられました。本大会は、皆様のご参加、ご協力のもと、今回で第二十三回目を迎えます。

現在、管内の町会・自治会、子ども会・育成会、学校のほか、昨年度参加チーム代表者にご案内を送付し、参加チームを募集中です。

詳細は左記のとおりです。皆様のご参加をお待ちしております。

○日時 平成三十年十一月十八日(日)
午前八時三十分から午後三時
○会場 都立足立工業高校体育館
○対象

各町会・自治会及び育成会・子供会の会員、管内の小学生以上の男女のチーム及び中学校・高校PTA

小学生子どもチーム、大人（中学生以上）チーム、ファミリーチーム、二二〇歳以上チーム

○参加申込期限
平成三十年十月五日(金)

青少年のよい行いを

ほめたたえる活動
「善行青少年の顕彰式」

平成三十一年二月十七日(日)

「青少年のよい行いをほめたたえる活動」は、西新井地区において地域活動にボランティア精神で参加・活動した青少年をほめたたえてその力を伸ばしてゆく活動です。

対象は、西新井地区に在住・在勤・在学する未就学児を除く十八歳以下の青少年又は団体に なります。

今年度も、町会・自治会・学校等に善行青少年の推薦依頼を送付させて頂きます。

「善行青少年顕彰」は、地域の皆様からの推薦が頼りです。善行顕彰に該当すると思われる児童・生徒さんをご存知でしたら、前記の推薦者の方々にお知

地区活動報告

らせくださいますようお願いいたします。

第十回親と子のふれあい音楽祭
《地域の和（輪）を広げ
絆を創ろう音楽祭》

平成三十年三月十一日(日)
第十回親と子のふれあい音楽
祭が去る平成三十年三月十一日
(日)にギャラクシיתי西新井文
化ホールで開催されました。

今回は、西新井地区対管内の小学校六校、中学校三校の計九校が合唱や合奏を披露しました。各校の練習の成果を存分に發揮した素晴らしい演奏に、満員の観客から大きな拍手が送られました。



今年度で第十一回を迎える親と子のふれあい音楽祭は、平成三十一年三月十日（日）にギャラクシיתיで開催いたします。皆様も是非お越し頂き、子どもたちの熱のこもった演奏をご鑑賞ください。

日帰り研修会

平成三十年七月一日(日)

今回は、キツコーマンもの知り
しょうゆ館見学、浅草見学、府
中市でのじやがいも堀体験等を行
いました。車中では人権啓発
DVDを活用した研修や地区対
活動についての意見交換等を行
いました。

当日は、猛暑となりましたが研修を通して参加者の結束をより深めることができました。



委員研修会

平成三十年八月十日(日)
今年度の委員研修会は、足立
区教育長定野司様に
「子どもたちに明るい未来を
成長を実感できる教育を！
く地区委員会の役割とはなにか」
をテーマにご講演いただきました。
た。

講演では、子どもたちのお祭りや子ども会など地域活動への参加が、逆境を乗り越える力（自己肯定感・自己制御能力など）を培える可能性があり、地域の誰もが子どもを支える主役として、子どもたちが心安らぐ居場所を作ることが大切だとお話がありました。

研修会後の懇談会では、参加者からも活発な意見が飛び交い、西新井地区対の更なる活性化のためにも、大変有意義な研修となりました。

《広報実行委員会》

美行委員長 西村秀彦
柴田美奈子 岩片善男
吉岡成子 中田実
大和田信一 森岡裕子
小林松美 安藤由起子
宮本清 中田雅之
山下友美